


2022年度（2023年3月期）  
第3四半期決算説明会

シチズン時計株式会社  
2023年2月13日

## 2022年度第3 四半期業績概要



# 決算のポイント

## 2022年度第3四半期累計（4-12月）実績

- 主力の時計事業を中心に売り上げを伸ばし、増収増益
- 時計事業：完成品が欧米市場を中心に第3四半期（10-12月期）も増収継続
- 工作機械事業：部材の調達環境が改善に向かい、生産出荷が進み増収

## 自己株式の取得

- 株主還元の充実と資本効率の向上を図る
- 取得株式総数：75,000,000株（上限）  
取得株式総額：400億円（上限）  
取得期間：2023年2月16日～2024年2月15日

## 2022年度通期業績予想

- 業績予想の変更なし

## 2022年度第3四半期累計（4-12月） 連結業績概要

(単位：億円)	2021年度	2022年度	前年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
売上高	2,156	2,301	+145	+6.8%
営業利益	196	210	+13	+7.1%
営業利益率	9.1%	9.1%	-	-
経常利益	223	244	+21	+9.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	171	196	+25	+14.6%
為替レート	¥111/USD ¥131/EUR	¥135/USD ¥140/EUR		

2022年度第3四半期累計（4-12月） セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2021年度	2022年度	前年同期比	
	9カ月累計実績	9カ月累計実績	増減額	増減率
時計事業	1,028	1,173	+144	+14.1%
工作機械事業	600	633	+32	+5.5%
デバイス事業	378	341	▲36	▲9.7%
電子機器他事業	147	152	+4	+3.2%
合計	2,156	2,301	+145	+6.8%
営業利益				
時計事業	103 (10.1%)	157 (13.4%)	+53	+51.8%
工作機械事業	94 (15.7%)	84 (13.3%)	▲9	▲10.3%
デバイス事業	21 (5.6%)	▲1 (▲0.5%)	▲22	-
電子機器他事業	10 (7.2%)	9 (6.4%)	▲0	▲7.8%
消去又は全社	▲33	▲39	▲6	-
合計	196 (9.1%)	210 (9.1%)	+13	+7.1%

(単位：億円)	2021年度	2022年度	前年同期比	
	3Q(10-12月)実績	3Q(10-12月)実績	増減額	増減率
売上高	798	824	+26	+3.3%
営業利益	89	86	▲ 2	▲ 3.1%
営業利益率	11.2%	10.5%	-	-
経常利益	102	76	▲ 25	▲ 25.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	73	70	▲ 2	▲ 3.7%
為替レート	¥113/USD ¥130/EUR	¥144/USD ¥144/EUR		



2022年度第3四半期（10-12月） セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

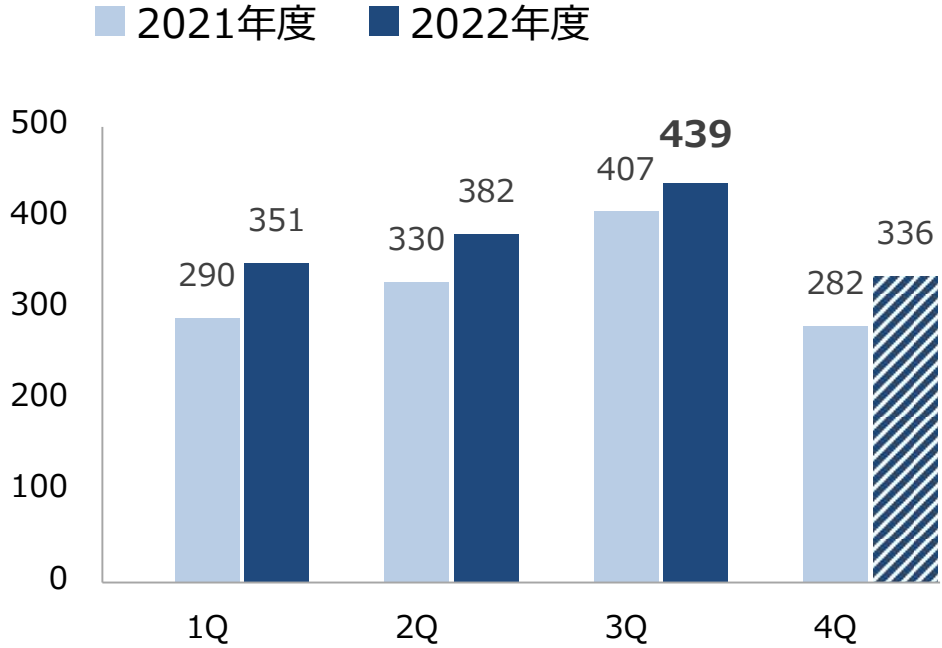
売上高	2021年度	2022年度	前年同期比	
	3Q(10-12月)実績	3Q(10-12月)実績	増減額	増減率
時計事業	407	439	+ 31	+7.8%
工作機械事業	217	224	+ 7	+3.2%
デバイス事業	123	112	▲ 10	▲8.6%
電子機器他事業	49	47	▲ 1	▲3.9%
合計	798	824	+ 26	+3.3%
営業利益				
時計事業	55 (13.6%)	69 (15.9%)	+ 14	+25.5%
工作機械事業	35 (16.2%)	29 (13.0%)	▲ 6	▲17.3%
デバイス事業	5 (4.8%)	▲ 1 (▲1.7%)	▲ 7	-
電子機器他事業	3 (6.4%)	2 (4.9%)	▲ 0	▲26.8%
消去又は全社	▲ 10	▲ 12	▲ 2	-
合計	89 (11.2%)	86 (10.5%)	▲ 2	▲3.1%

時計事業 2022年度第3四半期業績推移

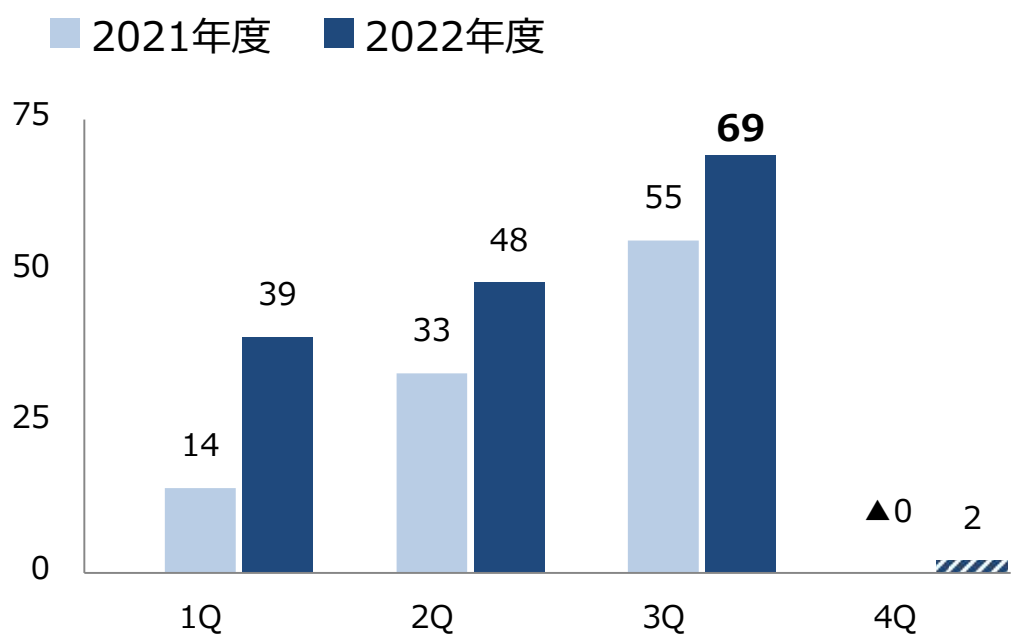
第3四半期（10-12月）

- 完成品販売 国内市場は緩やかな回復傾向が継続したほか、北米・欧州市場で年末商戦が好調に推移し、増収
- ムーブメント販売 機械式・アナログクォーツムーブメントともに回復が弱く、減収

売上高(億円)



営業利益(億円)

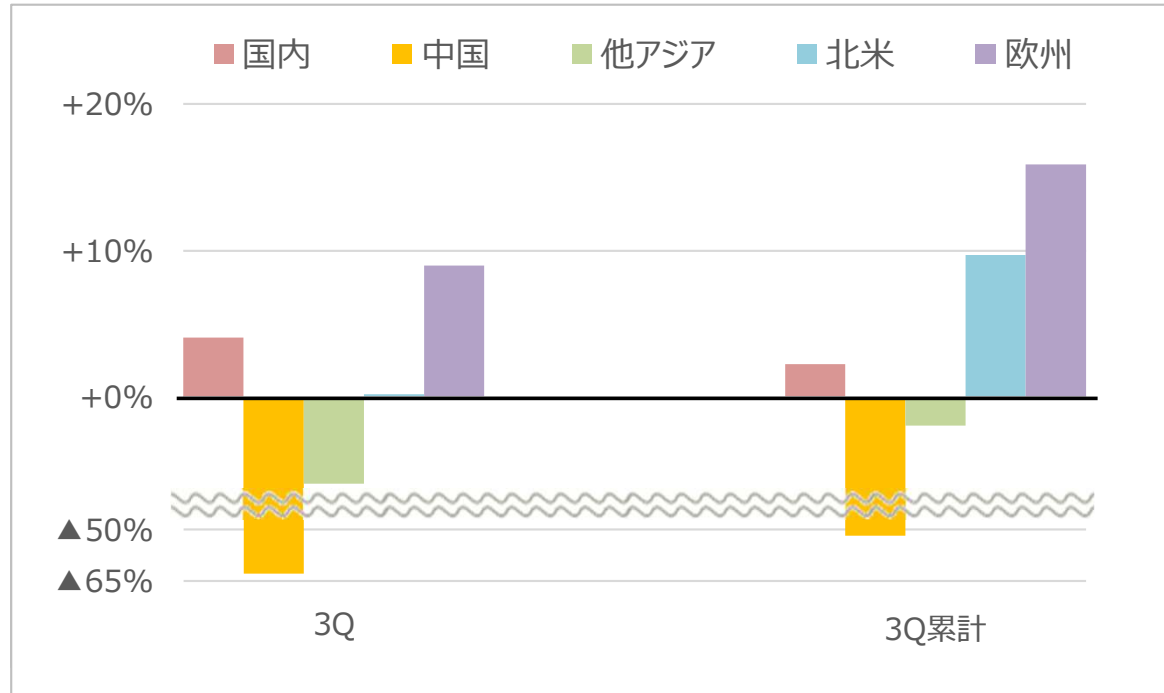




時計事業 地域別売上高伸び率

前年同期比増減率 (現地通貨ベース)

※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減  
その他の地域はCITIZENブランドのみの増減率



北米、欧州が好調を維持し全体を牽引した一方で、中国が大幅減

- 国内 物価高の影響により消費マインドが高まらない中、新製品等が堅調に推移し増収
- 中国 移動制限は緩和されたものの、感染再拡大を受け消費は戻らず減収
- 他アジア インド、シンガポールなどが回復傾向
- 北米 年末商戦はセルスルー好調を維持
- 欧州 英国、ドイツ、フランス等が好調に推移し増収

時計事業 プレミアムブランド強化に向けた取り組み

『The CITIZEN』 メカニカル限定モデル発売

- 自社開発の高精度機械式ムーブメントCaliber 0200を搭載し、日本の甲冑に着想を得たディテールを備える限定モデルを発売
- 発売日 : 2022年12月8日
- 価格 : 希望小売価格968,000円(税込)
- 世界限定90本 特定店限定モデル



シチズンと傘下のManufacture La Joux-Perret S.A.社双方のノウハウを活かし、高精度と審美性を備える機械式ムーブメントCal.0200



『ATTESA』ブランド誕生35周年記念限定モデル第3弾 Blue Universe Collection

- シチズン独自の表面硬化技術「デュラテクトDLC」の特性を維持しつつ、独特の深い青色を実現した新開発の「デュラテクトDLCブルー」を採用
- 『ATTESA』だからこそ実現できた、美しく輝く宇宙をイメージした「Blue Universe Collection」を発売
- 発売日 : 2022年11月10日
- 価格 : 希望小売価格132,000~318,000円(税込)
- 世界限定 1,000~1,900本



ベゼルやバンドの中駒に新開発の「デュラテクトDLCブルー」を配置

# 工作機械事業 2022年度第3四半期業績推移

## 第3四半期（10-12月）

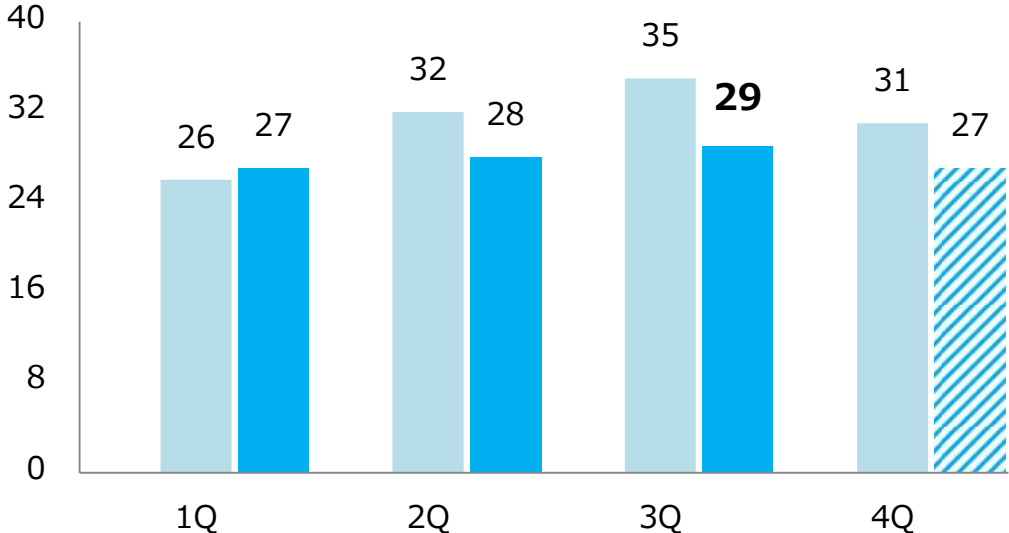
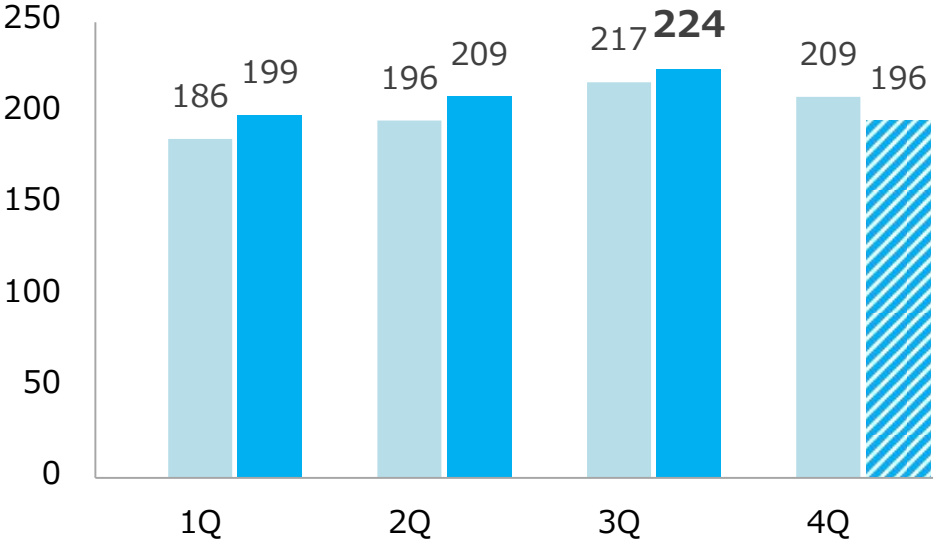
- 国内販売 自動車向けが伸び悩んだものの半導体・建機などが堅調に推移し、増収
- 海外販売 欧米市場を中心に旺盛な設備投資需要を維持するも、中国・アジア市場が落ち込み僅かに減収

売上高(億円)

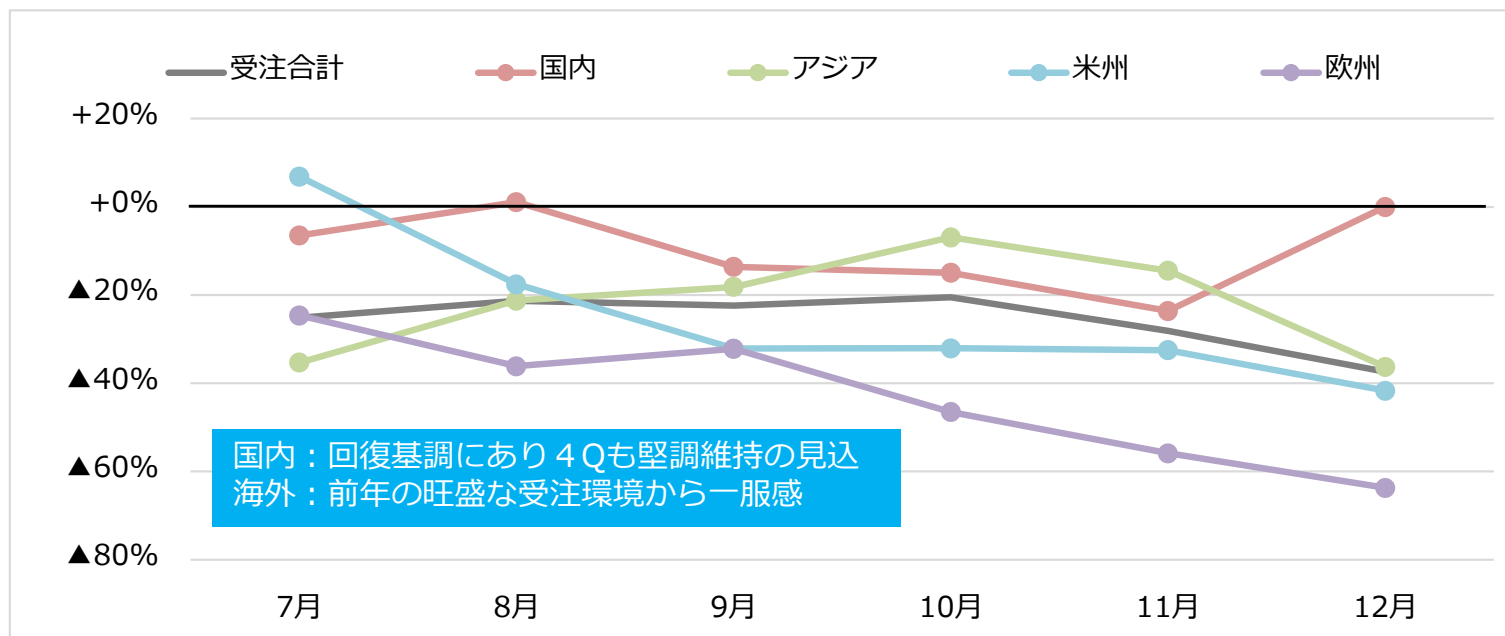
営業利益(億円)

■ 2021年度 ■ 2022年度

■ 2021年度 ■ 2022年度



## ■ 前年同月比増減率(3カ月移動平均受注台数)



## ■ 3Q前年同期比増減率(四半期受注台数)

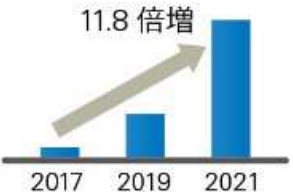
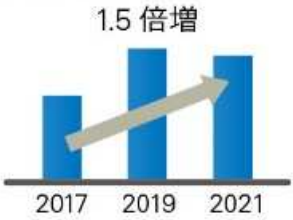
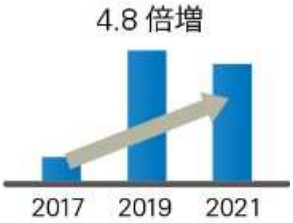
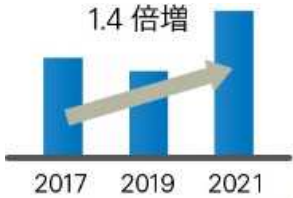
- 受注合計 ▲37%
- 国内 +0% 自動車は減産影響等を受け減少も半導体・建機などが下支え
- アジア ▲36% 韓国・インドなどは好調も、中国やその他地域が減少
- 米州 ▲42% 長納期化が継続する中、景気後退懸念の高まりを受け減速
- 欧州 ▲64% 景気後退懸念などから設備投資意欲に一服感



# 工作機械事業 加工技術による差別化

## LFV技術搭載機出荷好調、累計出荷台数5,000台突破

- 2013年の発売開始以来、国内・欧州から導入が進み米州・アジアへ拡大
- LFV技術搭載機は13機種へ拡大、今後、順次拡充





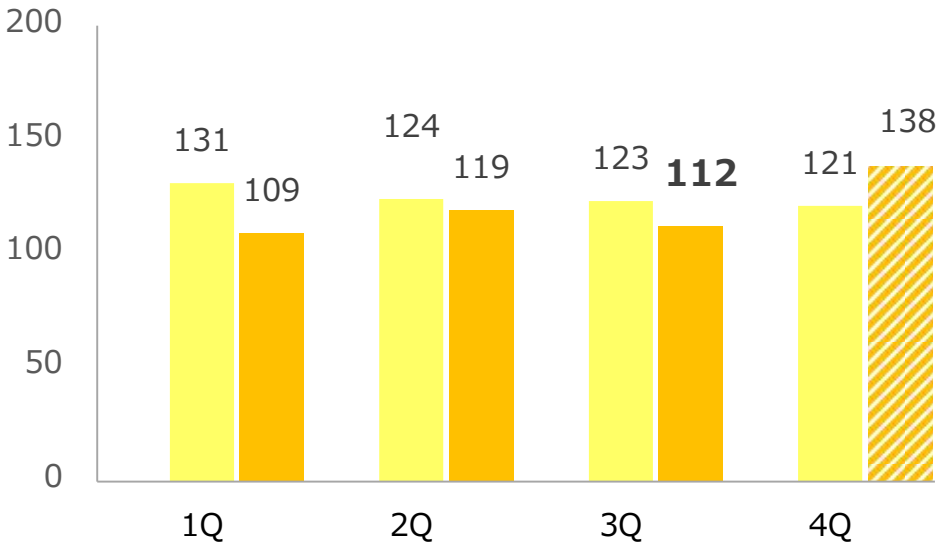
# デバイス事業 2022年度第3四半期業績推移

## 第3四半期 (10-12月)

- 精密部品 自動車部品は自動車メーカーの生産回復に遅れが見られており伸び悩み  
水晶デバイスはIoT関連需要に一服感が見られ減収  
小型モーターは医療関連や半導体関連が堅調維持も部品調達難の影響により僅かに減収
- オプトデバイス 主に照明向けLEDの需要が低迷し、減収

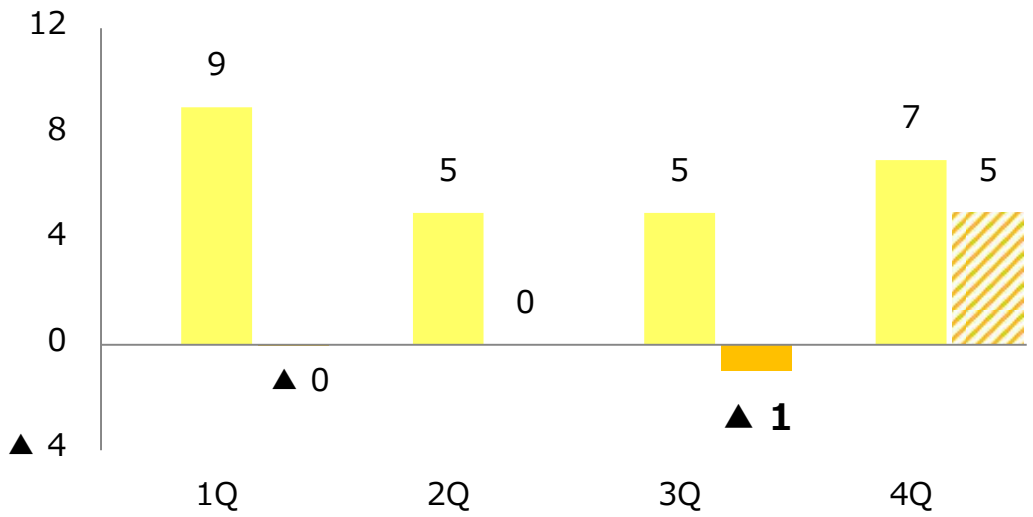
売上高(億円)

■ 2021年度 ■ 2022年度



営業利益(億円)

■ 2021年度 ■ 2022年度



シチズングループの温室効果ガス排出量削減目標がSBT認定を取得



**「シチズングループ環境目標2030」 温室効果ガス排出量削減目標**

スコープ1、2	2030年度までに50.4%削減（2018年度基準）：1.5℃水準目標※に該当
スコープ3	2030年度までにカテゴリ1+カテゴリ11の30%削減（2018年度基準）

※「1.5℃水準目標」：世界の気温上昇を産業革命前より1.5℃に抑えることを目指す目標。4.2%/年以上の温室効果ガス排出量削減が求められる

## 2022年度下期及び通期連結業績予想



## 2022年度 下期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	2022年度 11/14予想		2022年度 2/13予想		増減額	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,553	3,030	1,553	3,030	+0	+0
営業利益	106	230	106	230	+0	+0
営業利益率	6.9%	7.6%	6.9%	7.6%	-	-
経常利益	106	275	106	275	+0	+0
親会社株主に帰属する 当期純利益	73	200	73	200	+0	+0
為替レート	¥140/USD ¥140/EUR	¥136/USD ¥139/EUR	¥140/USD ¥140/EUR	¥136/USD ¥139/EUR		

■ 為替影響額 (1円円安の年間影響額)

売上高	USD		EUR		営業利益	USD		EUR	
		+9億円		+4億円			+2.5億円		+2億円

## 2022年度 下期及び通期連結業績予想 セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2022年度 11/14予想		2022年度 2/13予想		増減額	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期
時計事業	776	1,510	776	1,510	+0	+0
工作機械事業	420	830	420	830	+0	+0
デバイス事業	250	480	250	480	+0	+0
電子機器他事業	105	210	105	210	+0	+0
合計	1,553	3,030	1,553	3,030	+0	+0
営業利益						
時計事業	71 (9.3%)	160 (10.6%)	71 (9.3%)	160 (10.6%)	+0	+0
工作機械事業	56 (13.5%)	112 (13.5%)	56 (13.5%)	112 (13.5%)	+0	+0
デバイス事業	3 (1.5%)	4 (0.8%)	3 (1.5%)	4 (0.8%)	+0	+0
電子機器他事業	2 (2.4%)	10 (4.8%)	2 (2.4%)	10 (4.8%)	+0	+0
消去又は全社	▲ 28	▲ 56	▲ 28	▲ 56	+0	+0
合計	106 (6.9%)	230 (7.6%)	106 (6.9%)	230 (7.6%)	+0	+0



# CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。  
なお、億円未満は切り捨てになっています。